

「遅くともあなたが主役」 トライアスロン IN 徳之島大会 (2012/06/24)

喜田文雄

台風4号で、先週の座間味のオープンウォーター5kmが中止、と去年に引き続き、嵐を呼んでしまいました。続く、台風5号は熱帯低気圧に変わり、なんとか徳之島には行けました。

徳之島へのルートは、伊丹→鹿児島→徳之島か、伊丹→奄美大島→徳之島か、鹿児島から15時間かけてフェリーになります。



我が家は、奄美大島に立ち寄り、乗り継ぎ時間を利用して、空港近くの「ばしょ山村」へ。サンゴのきれいな海なので、泳ぐ予定だったものの、あいにくの干潮で足をつけただけでしたが、奄美大島名物の「鶏飯」を味わい満足。。

徳之島は、泉重千代さんで有名な長寿の島であり、また全国出生率 No.1 の島でもあるそうです。

なんと空港の名前が、「徳之島子宝空港」。

空港到着後、すぐ送迎のバスで、受付会場からホテルへ。チェックイン後すぐに競技説明会と称するカーボパーティー会場へと送っていただき、大助かりでした。

パーティーでは、食べきれないほどの地元料理に、飲みきれないほどのビールと黒糖焼酎と大満足。

翌日は、昼前からバイクコースの島1周をバス観光、その後、闘牛大会観戦の送迎サービス付きといたれりつくせり。

島から泳げない子供をなくそう、という想いで、「遅くともあなたが主役」とバイクはママチャリ、ヘルメットは工事用と、最初は本当に短いミニトライアスロンとして前天城町長の寿洋一郎さんが始められたそうです。彼は、24回連続出場+完走の大記録保持者でもあり、今年もみごとに完走されました。記録更新中の68歳です。

大会当日、道路は封鎖されているわけではないのですが、車は殆ど走っていませんでした。多分、ほとんどの島民がボランティアか、沿道の応援か、と本当に島を挙げての一大イベントという印象でした。



レースも、記録を狙うより練習会やと思って楽しんでください、と主催者の考えで、選手ものんびりムードで、私たちもパーティーやらエイドステーションやらをレースコースやら応援やらを楽しみました。KTC 主催の東山や鯖街道にどこ

か似ているように感じました。どちらも、人が良くて遊び好き。ほんわかあたたかみを感じました。

スイムはヨナマビーチを 8 時にスタート。片道 1km の折り返しの 2km。ホテルの前のビーチなので、スタートギリギリまでのんびりできました。

水温は、暖かく助かりましたが、波の高さは 1.3m らしく、かなりのうねり。前日の試泳のおかげでなんとか泳ぎきりましたが、久しぶりにパニックを味わいました。



普段より 10 分以上オーバーの 51 分。

去年、西川くんは、うねりに酔ってしまい、3 回も撒き餌をしてしまったそうです。今年は、免疫ができ、撒き餌はなかったものの気分が悪かったそうです。多分、前夜のアルコールも原因かもしれませぬ。。

昌子は、得意のスイムなのですが、ラップ 30 位とまずまずですが、タイムは悪かったようです。



場所によって、流れが変わり、速い流れのところでは、下のサンゴがなかなか動いてくれなくて、機敏に動く熱帯魚がうらやましい…。スイムで、体力をかなり消耗したように思いました。

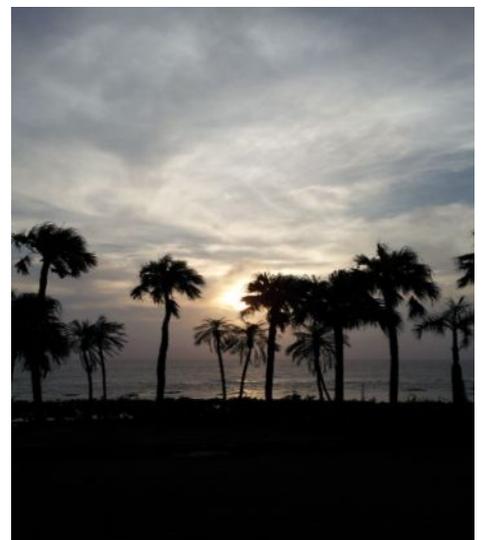
バイクコースは、島 1 周の 75km。経が岬の丹後半島ほどキツくはないですが、風光明媚なアップダウンたっぷり、さわやかな熱風が吹き付けるタフなコースでした。

しかし、朝練で花背～大布施往復、週末の周山～小浜往復の成果は出ました。**バイクラップ 15 位!!!**

ランは、ハーフの 21km。最初と最後が平坦なだけで、ほとんど登ったり下ったりは、伊是名に似ているように思いました。

バイクもそうですが、エイドステーションは、大勢の島民や子供たちであふれかえり、さながら大宴会場のようで、エイドの 100m 手前ぐらいから子供たちが競うように、冷えたスポンジやドリンクやらを渡してくれました。コースはキツイですが、人情は温かかったです。

ラン後半、3km 程まっすぐな、両側さとうきび畑が続く下り道を走るのですが、真っ青な海と、海に吸い込まれそうな水平線のパノラマが疲れを忘れさせてくれました。海岸線の両側のソテツが群生する美しい遊歩道へと続くのですが、無人の遊歩道に、突然、大声援のエイドステーションに出くわしたりと、こんなところで、名物のいちごのカキ氷が味わえるなんて…。なんていたれりつくせり。



沖縄から来た友人がくたばるく

らい、梅雨明けの暑さとの戦いでした。

ゴールでは、先にゴールしたランラップ 9 位の西川くんの両手に缶ビールがお出迎えしてくれました。休む間もなく昌子を缶ビール 4 本でお出迎え。再び乾杯!!!

ビール切れの心配はいりません。でっかいプールに、ビール、ドリンク等がわんさと冷やされているから飲みきれません。

その横では、地元のおばちゃんたちが冷えたタオルを全身に巻いてマッサージをしてくれます。昼食は、おにぎりに豚汁、またまた缶ビール!!!

私たちは、どんちゃんパーティーまでの間に帰り支度をしようと思い、バイクでホテルに引き上げましたが、西川くんの民宿はゴール近くなので、彼はそのまま呑み続けていました。どんちゃんパーティーでも、延々、呑みまくり、多分、宿に帰ってからも、翌日、鹿児島に出発するまで呑んでくれたと思います。

地元の多くの人たちと一緒にどんちゃんパーティーは、やがて食事は完食となりましたが、エンドレスの缶ビールと黒糖焼酎を残してフィナーレを告げる花火大会でお開きとなりました。

満天の星空に炸裂する花火は、島の人たちの情熱そのものでした。

もっと早くから、この島に来るべきでした。

来年からは、絶対に外せない大会となりました。

これら全てを含んで、エントリー費は 2 万円ポッキリ。高い交通費を払って来てくれたのやから・・・、という主催者の配慮のようです。おまけに参加賞は、ミズノの T シャツと黒糖焼酎、フィニッシャーポロにバスタオルももらえました。

ちなみに宿泊したホテルサンセットリゾートには、大浴場があり、露天風呂まであるのです。朝は、ヤシの間から水平線を眺め、夕方は水平線に沈む夕日を眺め、夜中は満天の星を眺め・・・。

部屋は、全てコテージで 1 室 2 名で 1 万円。食事はバイキングですが、朝食 700 円、夕食 2000 円と良心的だと思いました。

【成績】

西川剛 18 位 5:07:55 ラン 1:40(ランラップ 9 位)

喜田文雄 65 位 5:45:38 バイク 2:34(バイクラップ 15 位)

大河内昌子 78 位 5:56:08 スイム 0:38(スイムラップ 30 位)

レース翌日、ヤシの木陰のテラスで朝食。スイム会場となった浜を眺めながら、戦利品の缶ビールを呑みながら、ホテルに届けられたリザルトをニマニマ眺めながら余韻に浸ります。。。。

バイクラップ 15 位・・・、田村さんに勝ったぞ~!!!、しつこいか・・・。

来年は、あなたも主役になってみませんか？